



<サポーターズカンファレンス>

- 開催日時：2/9（土）10:00～12:00
- 会場：パルコタウン3F会議室
- 出席：(株)いわてアスリートクラブ 代表取締役社長 宮野聡
(株)いわてアスリートクラブ 取締役常務 高橋理
(株)いわてアスリートクラブ 強化・育成担当 田中舜
- 内容：2018シーズンの活動のご報告
事前質問に対する回答
2019シーズンの活動について
質疑応答

【開会のご挨拶】

- (宮野) 本日は貴重な週末にお集まりいただき誠にありがとうございます。今シーズンより、クラブの代表を務めさせて頂くこととなりました宮野でございます、よろしくお願いいたします。事前に多数のご質問を頂戴いたしましたので、弊社からのご説明・事前質問に対するご回答共になるべくスムーズに行い、クラブ発展に向けた話し合いの時間を少しでも多く設けられればと思います。ご回答等につきましては、宮野の他、高橋・田中の3名にて行わせて頂きます。高橋・田中よりご挨拶させていただきます。
- (高橋) おはようございます、常務取締役を務めさせていただきます高橋でございます。昨シーズンも、年間を通じて、ホーム&アウェイで本当にたくさんの応援を頂き、誠にありがとうございました。本日のサポカンを少しでも実のあるものにできるよう、色々とお話させて頂き、今シーズンに活かさせて頂ければと思います。よろしくお願いいたします。
- (田中) おはようございます、今シーズンよりクラブのフロントとして強化・育成担当をさせていただきます、田中と申します。皆さまとの貴重な話し合いを基に、クラブを少しでもいい方向に導けるよう頑張っ参ります。よろしくお願いいたします。
- (宮野) それでは、弊社から今シーズンのビジョン・中期方向性などにつき、ご説明させていただきます。

【2019シーズンのビジョン / 中期方向性】

<クラブ運営>

- (宮野) クラブも今年で15年目に突入し、トップチームからアカデミーに至る各カテゴリーの所帯も増え、少しずつJクラブらしい規模になって参りました。また、先般の陸前高田市さまからのホームタウンご承認、およびクラブ名・エンブレムの変更に伴い、名実ともに岩手「一岩」のクラブとなることができました。面積の大きいこの岩手全域においてクラブの裾野を広げていくことは時間がかかるかとは思いますが、1年1年、活動を積み重ねていき、Jリーグの素晴らしさを浸透させることができるよう、努めてまいりたいと思います。
- 通常のクラブ運営と並行して、昨年より、岩手県・盛岡市・岩手県サッカー協会様とともにスタジア



ム検討会を立ち上げ、2022年6月までの具備をJリーグから求められている照明およびJ2/J1へのステップを上げる為のスタジアム構想の議論をしております。昨シーズンは、議員の皆様にご来店いただき、クラブの現状・Jリーグの基準などの説明機会も設けました。2022年6月とリミットも決まっているため、J3開幕に併せて署名活動を行う等、順次進めて参りますので、皆さまも是非ご賛同いただけますと幸いです。

<トップチーム>

(宮野) 菊池利三監督3シーズン目となり、これまでの積上げの中で、勝ち点50・一桁順位という目標が設定されました。シーズンワーストの守備の建て直し等を軸に、期待の持てる戦力・充実したコーチ・スタッフ陣が揃ったと思います。もちろん、一戦必勝の中、全クラブが目指す優勝は、スタジアム整備の機運を高める為にも、我々にとって悲願です。他方、J2に上げれる環境が整ったところで、J2昇格順位を達成することが大切であり、チームの積み上げと言う観点でも着実に成長して参りたいと思います。

<アカデミー・スクール>

(宮野) 各年代の選手数の充実、U-18の県1部昇格など、まだまだ改善の余地も多分でございますが、少しずつ、アカデミー・スクールも拡充が図れています。クラブとして人件費に多額を投資できるほどの体力はまだ持ち合わせていないのですが、今回、強化育成担当に田中、更にアカデミースタッフも人数補強(計9名)を行いました。スタッフ陣容については追ってリリースいたしますが(2019年3月1日リリース済)、第二・第三の清水敦貴選手が誕生するよう、また、グルージャでの選手生活を通じて健全な育成を促進できるよう、努めて参ります。

<ホームタウン活動>

(宮野) 昨シーズンも、県内各地で多くの学校、施設、会社、また行政等からのご依頼を頂き、約300のホームタウン活動を行わせて頂きました。どのように行えば、質・量ともに発展できるか、フロント・アカデミー・トップの各スタッフ陣で話し合いを進めながら、スポーツの素晴らしさを発信できればと思います。

<スタジアム>

(宮野) さきほどお話いたしました通り、クラブとして、また岩手として、スタジアム整備は非常に大切な要素となります。グルージャだけでなく、岩手全体のスポーツの発展の為にも、年間を通じて人々の憩いの場となり、地域の活性化につながるスタジアムの整備に向け、先頭を切って働き掛けを進めて参ります。



<その他>

(宮野) ファンクラブ、シーズンパスなどにつき、ご案内が遅くなり申し訳ございません。昨シーズン、クラブとして一昨年から積み上げを目標に運営して参りましたが、力及ばず、観客数の減少という結果に終わってしまいました。実行するという点では種々施策を完遂して参りましたが、PDCAのサイクルを回せず、改善が弱かったという印象にあります。はじめてお越しになったお客さまがどう感じ、どこを改善すれば2度目の来場をしたいと思いますか。アンケートや、ご来場者のデータを蓄積し、検討し、改善を進めたいと考えています。

そこで、ファンクラブ、シーズンパス、グッズ販売等の機能を、Jリーグオンラインに集約するべく、現在、システム改築を行っています。Jリーグの基盤は、Jチケ、Jリーグオンラインストア、Jアプリの各機能で入手可能なデータを一元化し、クラブが活用できる仕組みを整えています。

クラブとしても、当該機能を活用し、年間を通じて充実したシーズンをご提供できるよう、取り組んで参ります。2月下旬から3月初旬にかけて、1日も早くリリースできるよう進めて参ります。

今回、フロントの事業チームに、集治隆太郎さんが加入して頂きました。集治さんは前職のアシックスでマーケティングを担当しており、加入早々、クラブのシステム構築やマーケティング機能の改善で活躍頂いています。

(集治) こんにちは、ただいまご紹介頂きました集治と申します。今回、ありがたいご縁を頂き、いわてグルージャ盛岡の一員として、取り組ませて頂くこととなりました。ファン・サポーターの皆様が少しでも多く楽しんで頂けるよう、努めて参りたいと思います。今シーズンから、よろしくお願い申し上げます。

(宮野) それでは、ここから事前に頂きましたご質問の回答に移らせて頂きます。

【事前質問に対する回答】

<TOP チーム>

(質問) 今シーズンは外国人選手の獲得の予定はありますか。

(田中) 今季は現有戦力で十分に戦っていけると考えておりますが、日本人選手も含め夏のウインドウまで、スタッフ、クラブで検討していきます。

(質問) 宮野さんに社長になっていただいた経緯や中村さんのGM就任？(リリースがないので。。。)の経緯。中村氏など、言葉は悪いですが、毎年ころころポジションが変わっているので「何年のいつまでジュニアユースの監督で、何年から強化部長に就任」のようなプロフィールのようなものを一回しっかりリリース出してくれないでしょうか？経歴があまりにも不透明すぎでその人の人となりが見えてきません(Wikipediaなどでも彼の経歴は追えていないようなので数年にわたり彼に関する人事異動などに関するリリースなどは無いと解ります。自分の中ではジュニアユースの監督しているところで止まっており、その後どういう役職についているのかははっきり解りません。ここまで伏せるのははっきり言って異常なことでは?)特に今年からGMになったのであればもっと表に出てきてほしい。それからスタッフ陣、例えばフィジコなどはもう少し掘り下げて経歴を紹介しないとこの人で大丈夫か?と心配になってしま



います。この方は専門の学校などで勉強してフィジコに至るのですか？出ていないとしても最低でも出身の高校くらいは載せるべきでは？奈良クラブから来たコーチの嶋さんも魅力的な方のように見えませし色々な経歴や経験をしているようなのでもう少しピックアップしてもいいと思いますここまでとは言わないにしても、もう少しコーチやスタッフなども注目を当てるべきでは？

【参考】<https://www.frontale.co.jp/profile/2018/index.html#staff>

(宮野) 一昨年に常勤で関わらせて頂き、昨シーズンは1カ月に2回ほど盛岡に来て経営面のサポートをさせて頂きました。クラブとしてもここが踏ん張りどころということで代表を務めるお話を頂きましたが、一度携わった身として、またこの地でサッカー少年として育った身として、岩手子どもたちから地元のJリーグクラブを失ってはいけない、全国各地であるような本当のJリーグの素晴らしさを感じてほしい、といった想いが強くあり、大役であることは重々承知の上、お引き受けさせて頂くこととしました。中村に関しては、グルージャのアカデミーからトップ、またフロント業務に至るまで、幅広くクラブに携わってきた経緯がございます。先日、長きに亘りクラブに貢献頂きました小川が退任という運びとなり、拡充しつつあるアカデミーの歴史を知り、また、トップまでのDNAを一気通貫で浸透させる役割を担う為、GMのポジションに付いて頂きました。役割が広範となりましたが、田中が強化・育成担当に入ってくことで、クラブとして初めて、フロント側に現場専属の担当が2名体制となりましたので、ここから更なる成長ができるよう頑張りたいと思います。

(田中) 中村の経歴ですが、

2006～09年 グルージャ盛岡ジュニア・ユース 監督 (トップチームコーチ 兼務)
2010～12年 グルージャ盛岡トップチームコーチ 兼 営業
2013～15年 営業部長 (2013年5月～12月 トップチームコーチ兼務)
2016～18年 強化・育成部長
2019年～ 現職

平井フィジカルコーチの経歴は

2008～11年 東海大学 経済学部 経済学科
2012～14年 JAPAN サッカーカレッジ トレーナー専攻科
2015～16年 FCガンジュ岩手 フィジカルコーチ 兼 トレーナー
2017～18年 グルージャ盛岡アカデミー フィジカルコーチ 兼 アカデミーコーチ
2019年～ 現職

アカデミーも含めて専門性のあるスタッフの充実には注力したので、長所を存分に発揮していただき皆様の目に触れる機会も増やしていければと思います。

(質問) 田中舜 強化・育成部 強化担当が、昨年の引退セレモニーでされた発言「熱量が足りない」はサポーターの一人として胸に響きました。ファン、サポーターへ望む事をこの場で改めて是非お話しいただきたいです。クラブに残っていただき本当に有難うございます！



- (田中) 昨季は苦しい時期も多かったですが、いつも熱い声援を有難うございました。まず前提として我々は日々全力、一戦必勝で闘いますし、皆様に楽しんで頂けるスタジアムづくりに励んでまいります。そのうえでここにいるサポーターの方々を中心にスタジアム、地域を巻き込んで熱く盛り上げるご尽力を賜りたいです。その為に、一人でも多くの隣人をスタジアムにお誘いいただき、共に楽しい空間を作り上げていければと思っています。
- (質問) 2018 シーズン限りで退団した某選手のコメントには、少なからずショックを受けました。選手の契約については、ある程度ドライに受け止めざるを得ないとは思っていましたが、「グルージャに在籍した数年間、クラブが彼に対して幸福を与えられていなかったのだとしたら…」と考えると、切ない気持ちになりました。選手に限らずグルージャはスタッフの移り変わりも激しいクラブです。厳しい環境だからこそ、精神的ケアを含めて選手・スタッフを大切に作るクラブであって欲しいと強く願います。
- (田中) 私自身、昨季は選手としてプレーし、いろいろと感じるがありました。特に上のカテゴリーを経験してきた選手にとってグルージャの環境は、違和感を覚える面が多々あるかと思います。そういったなかで我慢しながらプレーさせてしまっていたのも事実だと思います。少しでも選手がベストな状態でプレーできるようにコミュニケーションを密にとり、支えていきたいと思っています。
- (質問) 2018 シーズンは 2017 シーズンに比べ格段に良い内容の試合が増え、個人的には非常に見どころが多かったシーズンでした。2018 シーズンのトップチームの成績についての評価をお聞かせ下さい。
- (田中) 勝ち点 40 (昨季 29) の達成、順位の上昇 (15→13) は一定の評価を得られるものでありますが、1 桁順位には届かなかったのが現実です。攻撃力は J3 で警戒もされていましたが、失点が多く勝ち点を取り逃した試合が多かったです。DF ラインのメンバーが固定できず、計算ができなかったのが大きな反省材料です。今年の補強は J3 で実績や経験ある DF の選手を少数精鋭で獲得しましたので、その改善に努めてまいります。
- (質問) 私見ですが、ここ数シーズンのグルージャの試合を見ていると、選手コンディションに試合毎の大きなムラがあるように感じられます。このことは、毎シーズン怪我人が多く発生していることと無関係ではないように思います。選手のコンディショニング確保・向上に関して、改善案等のお考えがありましたらお聞かせ下さい。
- (田中) 昨季、ケガ人が多いためベストメンバーが組めず、交代選手でも変化がつけられないという状況にスタッフは苦しんでいました。そこで今季は平井フィジカルコーチを中心に日々のコンディション管理の徹底を図っており、昨季からの変化もあり選手はいい取組みができております。また渡辺フィジオセラピストはケガ人の早期復帰、コンディションや筋力をアップした状態でピッチレベルに戻すことを目的とし、就任していただきました。



(質問) 2018 シーズンはアウェイで試合を落とした印象が強く、移動における選手のコンディションが気になります。隣県秋田から北九州や沖縄まで、各地の遠征は主にどのような交通手段を用いているのか、差し支えない範囲で教えていただきたいです。仮に、長距離のバス移動を行っており、それに伴って選手のコンディションが落ちていると考えられるのならば、可能な限り新幹線や飛行機を使用することはできないでしょうか。同じ J3 に所属しているガイナレ鳥取は、チーム成績向上の要因の 1 つとして、JR と連携し新幹線移動を増やしたことが挙げられていました。また、ブラウブリッツ秋田やモンテディオ山形、徳島ヴォルティスや愛媛 FC をはじめとして、地理的に移動に労力がかかる東北や四国をホームタウンとしているクラブはスポンサーに日本航空を加えています。予算に限りはあると思いますが、前述したクラブのように、JR や花巻に就航している FDA 等の航空会社との連携を希望します。

(宮野) 交通系の会社様からスポンサー頂くことで経費削減につながり、選手の移動負担が軽くなるかと言うと、必ずしもそういったことではございません。当クラブもそうした交通系の会社様との会話をしておりますが、現時点におきましては、別のスポンサー様が非常に良いご調整をさせて頂いており、同スポンサー様との連携を軸に、アレンジに務めております。いずれにしましても、飛行機や新幹線を多用し、また、なるべく前泊、後泊を増やして、最高のコンディションで臨んでもらえるよう成長しなければなりませんので、スポンサー様のご支援を頂きながら、良い環境を整えられるよう取り組んで参ります。

(質問) ここ最近、中国人選手獲得と彼らをサポートする中国語の翻訳スタッフの移籍があったわけだが、なぜ中国人選手獲得に動いたのか話せる程度でいいので教えていただきたい。

(質問) ここ数年の中国選手獲得で得たものはあったのか？ 今後も続けるのであればまず試合に絡めるレベルの選手を獲得してほしい

(宮野) Jリーグ全体でアジアを中心として海外戦略が進んでいます。アジアのハブリーグとなり、放映権を中心としたインバウンド、更に、当該国籍の選手が日本で活躍することによるスポンサーの拡充、実際に応援に来ていただけるサポーターの誕生など、様々な観点で、Jリーグ、日本サッカーの発展に重要な要素となりつつあります。

当クラブとしても、2017 シーズンに上海上港から加入したヤンファン選手を皮切りに、中国とのつながりが出来ました。昨シーズンも、世代別代表を担う選手が 3 名加入し、J3 とはいえ、中国人の若手にとってはレベルの高い環境でトレーニングを積むことができています。斯様な中、陳選手は終盤でリーグ戦出場も叶い、前半のみでの出場となりましたが、成長の足跡を残す活躍を見せてくれて、チームとしても非常に嬉しい瞬間でした。

育成する中で戦力となってくれる側面と共に、中国関連の企業様からのスポンサーや、選手を育成して他クラブに移籍する側面においても、少しずつ結果が出ており、Jリーグ全体の動きと歩調を合わせるように、我々もアジア戦略は進めていければと思います。



<アカデミー>

(質問) 今シーズンこそ、ユース・Jr ユースの 2nd チームを発足すべきと思いますが、どのようにお考えでしょうか。特に Jr ユースは人数的にも、強化を進める上でも 2、3 年生主体の 1st・2nd と 1 年生のみで構成する U-13 の最低 3 チームは必要ではないでしょうか。(優秀な 1 年生は飛び級で 1st・2nd へ)ユース・Jr ユース両方に言えることですが、3 年生が引退するまで下級生がほとんど公式戦に出られないようでは強化が進まないと思います。2nd で公式戦に出場し、経験を積んだ選手が翌年 1st で活躍するといった強豪チームにあるような好循環がグルージャのアカデミーにも必要です。ぜひ、2nd チーム発足をお願いします。

(田中) 2nd チームについてですが、

- ジュニア・ユースに関しては昨年度より U-15・U-14 で構成した 2nd チームで市内リーグ、ポラリスリーグにて試合経験・出場の場を設けられたので引き続き行っていく予定です。
- ユースに関しては井出ダイレクター・U-18 監督とも連携してセカンドチームは作らず松田賢太コーチを置きスタッフの充実を図り、日々の TR の質を上げるとともに TRM・フェスティバルに参加予定です。

(質問) ユース以外のアカデミーの試合日程も公式リリースしてほしいです。ユースの試合日程はクラブから出してもらっていますし、県サッカー協会管理の GoalNote でも確認ができますが、Jr ユースやジュニアの試合日程はクラブも出してくれませんし、協会も 3 種 4 種の試合日程は出さないの試合日を把握できません。Jr ユースは今シーズン、岩手県リーグでの戦いとなり、管轄が岩手県サッカー協会になりますので、東北サッカー協会のように試合日程をホームページに載せないと思われ、試合日が分からなくなる事が予想されます。最近では保護者以外のサポーターの方々もアカデミーの応援に足を運んでいますし、クラブを県民に認知してもらうにはアカデミーの露出も増やしていくべきです。保護者だけが分かっているだけではいけないのではなく、ファン・サポーター、これからグルージャのアカデミーに入団を考えている子供たちのため、岩手県のサッカー熱を高めるためにも、アカデミーの試合日程を公式リリースして頂けますようお願いいたします。

(田中) アカデミー担当の広報を置き多くの情報を発信していくよう努めてまいります。

(質問) アカデミー選手の顔写真をオフィシャルサイトに載せてほしいです。現在の氏名等の情報に選手個々の写真を追加。トップチーム同様、選手の顔と名前が一致すればよりクラブや選手が身近に感じられ、応援したい気持ちがより高まります。このご時世ですので、さすがにジュニア選手の顔写真は保護者の方も抵抗があると思われましてので検討が必要、もしくは顔写真自体不要かなとも思いますが、Jr ユースやユースは必要だと思います。他の J クラブではアカデミー選手の顔写真を載せているクラブも多いので、ぜひグルージャも検討をお願いします。

(田中) クラブの一存では決められない問題ですが、検討していきたいと思っております。

(質問) 今年のジュニア→ジュニアユース、ジュニアユース→ユースへの昇格内定状況はどのようになっているか。



具合的な人数、または割合でもいいので教えてください。

(田中) 昇格内定状況は、

- ジュニア→ジュニア・ユース ⇒ 4名/7名
 - ジュニア・ユース→ユース ⇒ 4名/9名
- となっております。

(質問) 今年からユースが県 1 部を戦うが、強豪校が集まるカテゴリーでプリンスリーグに昇格する勝算はあるのか？それとも現選力では厳しいので残留を目標に戦うのか？

(田中) グルージャとしても初の挑戦となります。難しい戦いが続くことは間違いないですが、まずは目の前の一戦一戦に注力してもらいたいと思っております。選手、スタッフはもちろん昇格を目指して戦うので見守っていただければ幸いです。

(質問) それから昨年の内部昇格以外の県外からのユースに加入した選手の状況や県内外からの選手の受け入れる体制はより整ってきているか？まだまだ県内外から良い選手を獲得しないとレベルが上がるここから先のカテゴリーの戦いは厳しくなると思う

(田中) 学校側の寮による協力体制もあり県外選手も受け入れております。そのうえでグルージャとしても今年から寮を整えました。今季は県内、県外問わずスカウティング活動を行うことをスタッフ一同、共有して取り組んでおります。

(質問) ジュニアユースが東北みちのくリーグからなぜ降格したか、一年でみちのくリーグに復帰する意思はあるのか？それからサテライトチームの構想があると昨年だったかに語っていたがそれはどうなったか？

(田中) 基礎技術の向上や戦術の浸透等、一定の成果は見られました。そしてスタッフ、選手たちは全力で戦いました（1勝3分け）が、みちのくリーグで戦うにあたりすべての面で力不足であったと感じております。その事実を受け入れたうえで昇格するために、スタッフの充実、そして20人の枠のなかでチーム内競争を高めるようなマネージメントで強化、改善していく次第です。U-15 セカンドチームは市内リーグ、U-14 セカンドチームはポラリスリーグに参加しております。

(質問) 東北 U-13 みちのくリーグにはなぜ参加していないのか？参加する意思はあるのか？

(田中) 参加する意思はあります。昨年もリーグ参入に手は挙げたが、入れ替え戦で敗北しました。今年は県リーグ（一関）には参加する予定ですので、優勝すれば入れ替え戦を戦い、U-13 みちのくリーグに参加できる可能性があります。

(質問) もっともっとアカデミーを活発化させ強化してほしい

(田中) まずはスタッフを充実させることで、選手たちがより成長できる環境を整えました。細分化した各カテゴリーのメインコーチや統括する監督のもとで日々の練習に全力で取り組んでもらいます。



- (質問) ここ最近、ユースチームが著しく躍進しているようで非常に喜ばしく思っています。ユースチームを応援する気持ちはあっても、観戦までは出来ないサポーターも多いはず。オフィシャルサイト、SNSにユースチームのプロフィールや戦績・試合レポート等を載せて頂ければ、グルージャがホームタウンに溶け込むきっかけになるのではないのでしょうか。
- (田中) 今シーズンから、フロント側でアカデミー広報担当を設置しましたので、徐々に発信の頻度・質を高め参ります。

<スタジアム・会場の環境>

- (質問) ラグビーW杯の合宿地に盛岡市が含まれているが、万が一いわスタが合宿期間中に使用することになった場合、どこのスタジアムでリーグ戦を行う予定か。
- (高橋) 先日リリースさせて頂きました通り、全試合を無事、県内にて開催できることとなりました。一時は県外での開催も已む無しの状況まで追い込まれましたが、行政を中心に関係各所のご理解もあり、実現できることとなりました。
- (質問) 釜石の鶴住居スタ、是非リーグ戦の会場として使った方がいいと思うけどどうか。ラグビー用だからサッカーにも対応できるし、遠く離れた沿岸の人たちにもグルージャの試合を見られるようにしないと、全市町村ホーム化した実感を全岩手県民が感じられないからすべきたと思う。無論、県北・県南と他に地域でも見られるようにホーム戦を開催できるのがベストであるが。
- (高橋) まず、リーグからJ3開催を許可頂ける仕様を満たすスタジアムは、岩手県内ではいわぎんスタジアムと北上総合運動公園陸上競技場のみとなります。釜石に関しては、釜石市の担当者にアプローチを行いました。2019年はラグビーワールドカップ以外に使用を認める予定はないと、回答を頂きました。また、鶴住居スタジアムは、サッカーゴールがない等、サッカーを開催する為の環境が整っておりません。仮設設備が無くなる前までに何とか開催したかったのですが、それでも、使用可能となった後から、例えば、新日鉄住金つながりでご縁のある鹿島アントラーズさんや、宮城のベガルタ仙台さんと、記念マッチを行う等、沿岸地域の皆様の近くでJリーグの試合を観て頂けるよう、工夫を凝らしていければと考えています。
- (質問) 最前列のS自由席とSS自由席の間にスピーカーが設置されているが、邪魔で見えづらい。何とかできないだろうか。
- (高橋) シーズンを通じてご担当頂いている業者様と先日、この件も含めて議論して参りました。いわぎんスタジアムの構造上、ご指摘頂いた箇所にスピーカーを置かないと、メイン席全体に音が響き渡らないというのが実態です。クラブとしては、苦肉の策ではありますが、今シーズンも、同様の位置にスピーカーを設置し、他方、席種等で工夫して参りたいと思います。



(質問) 岩手県営運動公園の陸上競技場は、リーグ戦で使用できないそうだが、開催できるよう検討すべきだと思う。使用できるよう協議をしてみても如何だろうか。

(高橋) 先程お応えの通り、残念ながら、リーグから J3 開催を許可頂ける仕様を満たすスタジアムは、岩手県内ではいわぎんスタジアムと北上総合運動公園陸上競技場のみとなります。

(質問) 将来的な J2, J1 昇格に向けスタジアムを改修する必要があるが、それに向けた取り組み・動き・現段階の首脳陣の考えなどがあれば、何でも教えて欲しい。

(高橋) 先程宮野がお応えしました通り、行政各位・県サッカー協会との協議を中心に、進めております。

(質問) 昨年はテントや紅白幕などスタジアムの雰囲気作りが良かった。エンブレムやロゴを変更した今、これらのハード面の投資に良いタイミングと考え、取り組みを加速して欲しい。特に各入場ゲート、総合案内、グッズ売り場などを(秋田のホームゲームのように)改善し、プロの興行に相応しい形にして欲しいのです。どのように考えどう取り組むか教えて下さい。

(高橋) 秋田さんのように、スタジアム一周を BB 秋田色に染める演出は、我々も非常に参考にしたいポイントです。今シーズンから新たに行う施策もございしますが、費用をよく見ながら、引き続き非日常的な空間を演出できるよう努めて参ります。

(質問) ラグビーワールドカップ期間中は盛岡市や北上市が各国代表のキャンプ地になっていることから、県内のスタジアムが使用できず、最悪県外でのホームゲーム開催の可能性もあるとのことだが、当該国が試合の時は県内のスタジアムを使用できないのか。例えば北上市でキャンプをするウルグアイ代表は 10/5(土)に大分で試合のようだ。この日に北上市総合陸上競技場でホームゲームを開催できないのか。同様に盛岡市でキャンプをするナミビア代表は 10/6(日)に東京で試合のようだ。難しいかもしれないが、できる限り県内での開催を考えてほしい。

(先程お応えさせて頂きました通りでございますので、割愛させて頂きます)

<スタジアム・会場の環境>

(質問) シャトルバスの利用促進をはかり、経路・本数も増やしてほしいです。昨年、鹿児島サポの方に「なんで盛岡の人はバスを利用しないの?」と聞かれ、岩手は車社会ですからと答えると「それはおかしい! 何でサッカー見に行くのも車なの? お酒が飲めないじゃない! 楽しみ半減どころか無くなっちゃうよお。それに、レプリカ着て公共交通機関に乗ればそれだけで試合告知にもなるんだから・・・」云々言われました。一理あると思うのですが如何でしょうか?

(質問) 岩手飯岡駅前〜いわスタ間に無料シャトルバスを運行出来ないでしょうか? (盛タクさんのキッズールタクシーでも可)

(高橋) 徐々にではございますが、シャトルバスをご利用いただくサポーターの方が増えつつございます。無料でできるかは少し難しいのですが、もっとシャトルバスの存在を知って頂き、駅前からスタジアムに気軽に行けるということを周知して参りたいと思います。



(質問) 現行のリーグ制度においては、いわぎんスタジアムの照明問題を放置していれば、2022年にはJ3ライセンスを失うことになっていたはずですが。改修にせよ建設にせよ、ホームスタジアムに関する具体的なロードマップをクラブが示していく時期ではないでしょうか。今後のホームスタジアム改修又は建設についてのクラブとしてのお考えをお聞かせ下さい。

(先程お応えさせて頂きました通りでございますので、割愛させていただきます)

(質問) 「子供たちに夢を」も結構ですが、日々厳しい現実と戦っている大人たちも夢がほしいです!! 誰もが夢を見ることが出来るフットボールスタジアムを!!

(高橋) ありがとうございます。我々としても岩手の子どもたちを中心に、皆が夢を見れる、アツク楽しいスタジアムができるよう取り組んで参ります。

<イベントについて>

(質問) 2019シーズンはヴァンラーレ八戸がJ3に加わり、4つの東北クラブで戦うことになる。4クラブ合同による企画を打ち出しても良いかと思う。私からの提案として、東北4クラブによる東北クラブ最強決定戦と題し、すべての東北ダービーの勝敗に応じて順位を付ける大会を開催し、結果に応じて特典などを寄贈するイベントはどうだろうか。東北ダービーが一層特別な一戦として普段の会場の雰囲気を変えるスパイスとして効くのではないだろうか。

(高橋) ヴァンラーレ八戸さんが昇格されたことで、東北のクラブ間でも色々を打合せをしております。盛り上げの一助となるよう、工夫を凝らして参ります。

(質問) ホームゲームで「I'm forever blowing bubbles」をもっと多くの方に歌ってもらえるよう、色々工夫を凝らしていただきたいです。(不來方高校音楽部の皆さんに、クラブの歴史とこの歌の関わりを含めストーリー仕立てで歌っていただく。MDPに毎回歌詞を載せる。岩手飯岡駅の列車発車のメロディーをI'm forever blowing bubblesにする等々) 昨年のように、ただ流すだけではあまり効果は期待できないのでは?

(高橋) ゴール裏のサポーターの皆さまと会話をさせて頂き、如何にしてホームゲームを盛り上げるか、検討して参りたいと思います。

<事業> (協定・提携、選手起用などについて)

(質問) 最近いくつかの団体との提携をしたが、ヴィクトリア・ハイランダーズ FC との提携について聞きたい。今回の提携は選手・スタッフ間との交流、情報資料交換などが協定に含まれているが、この協定によって将来的に両クラブの選手・スタッフの移籍なども視野に入れているのだろうか。今後の展開、向こうの選手の獲得や逆にこちらの選手を向こうにレンタルなどで出す可能性はあるのか?

(宮野) 提携の経緯として、ハイランダーズのオーナーを務めるマークが盛岡市がホストタウンとなるカナダ代表のアレンジをしていたこと、ヴィクトリア在住で留学サポートなどを手掛ける元川崎フロンターレスタッフの高尾さんが当クラブの高崎前ヘッドコーチと繋がりがあったこと等が重なり、マークとの会話がスタートし



ました。今から 20 年前ぐらいは、小学校の盛岡市選抜がヴィクトリア遠征に行くなど、サッカーでも色々と交流があったのですが、最近は文化面含めて、主だった交流が乏しくなっていること、東京オリンピックに向けて、民間のサッカークラブ同士の交流を通じて盛岡市・カナダ代表の成功を機動力高くサポートしたい、といったことがキッカケとなり、提携を結ぶこととなりました。

選手同士の交流・移籍も図れればと思いますが、まずはできるところから一つ一つ実現し、両市の関係促進につなげられればと思います。

(質問) 川崎フロンターレとの様々な交流があり、これまでピッチ外でも両クラブ間の活動が盛んに行われてきた。これを機に選手間の移籍協定やフロント陣との交流を図ることを目指してはどうだろうか。川崎にはほとんど試合に出られない選手が多くいるためレンタル移籍を積極的に行ったり、J1 のフロント陣から有益な知識経験を吸収できるよう交流の場を得られるようにしたいと思う。もっとグルージャ盛岡は求心力のあるクラブとして振舞って欲しい。

(宮野) 川崎フロンターレさんには、先日の陸前高田ランドへの参加の他、つながりを持たせて頂き、クラブとしても非常に有難い刺激を頂いています。Jリーグチャンピオンから選手をお貸しいただけたら最高ですが、今後とも、復興支援へのサポートをきっかけに岩手と関係を築いて頂いているフロンターレさんとは、是非ご連携させて頂けることは大変ありがたく、我々も少しでも近づけるように頑張っていきたいと思えます。

(質問) 来季から、Jリーグはホームグロウン制度をスタートする。クラブとしても一層アカデミーチームに力を入れ、自クラブから多くの選手を育てることが大切になるわけだが、どうお考えか。

(高橋) 先程お応えいたしました通り、クラブとしてアカデミーの充実は非常に大切だと考えています。清水選手のような地元 Jリーガーを一人でも多く輩出できるよう、クラブ内外で岩手のサッカー成長の為にアプローチを進めて参ります。

(質問) 外国籍選手枠の緩和も実施される。今後の外国人選手の獲得・起用についてどうお考えか。

(宮野) 戦力となりうること以外にも様々な側面を捉えての獲得となります。また、大前提としてチームの調和がありますので、チームの調和が保たれるかをよく吟味しながら、進めて参ります。

(質問) ファンクラブの入会特に継続ですが、早めの案内をお願いします。もしくは自動継続、引き落としができれば尚良いかと思えます。

(宮野) 先程お伝えいたしました通り、ご案内が遅くなり申し訳ございません。持続発展性のある形でリリースいたしますので、今しばらくお待ちください。

(質問) ホームタウンの「岩手県全域へ拡大」について、クラブのビジョンを明確にお教えいただきたいです。昨年は「全域へ拡大」のメリットがあまり感じられなかったのですが、如何でしょうか？また、将来ホームゲーム開催地はどのようにお考えですか？



(宮野) 一朝一夕には、県内全域でホームタウンとなった良さを実感頂くのは難しいですが、全域でのホームタウンを継続していくことで、少しずつ Jリーグの良さを実感頂けるよう、取り組んで参ります。ホームゲーム開催地はスタジアム基準の関係でなかなか難しいですが、親善試合やトレーニングマッチを各地で行うなど、身近に感じてもらえるよう努めて参ります。

<チケット>

(質問) 昔販売していたチケットの回数券の販売を復活してほしいです。

(宮野) ご提案頂きました回数券復活含め、チケットの仕組みに関して、現在検討しておりますので、近々にご案内申し上げます。

(質問) 新シーズンのチケット料金、シーズンパス料金、ファンクラブの情報について。この質問を書いている 2 月 3 日 8 時現在ではいずれも情報が出ていないが、これは遅いと感じているのか、いないのか？ 私個人としては、1 月 20 日にイオンモール盛岡という「いわてグルージャ盛岡に興味のない一般の方」の目にも留まる場所で新体制発表会を行ったのにその情報がなかったことは重大な機会損失だと思っている。その他にも 1 月 23 日の試合日程発表日、2 月 1 日の（サッカー界的）新年度に入った日と、「ここなら区切りがいいか？」と思うタイミングでも情報が出てこない。これは遅くないのか？
(先程お応えさせて頂きました通りでございますので、割愛させていただきます)

(質問) 第 1 節、第 2 節がアウェイでの試合であることはここ数年の決まりごとのようになっているが、しかしサポーター心理としての 2019 年のシーズンは（遅くとも）第 1 節から始まるのであって、そこに向けた準備が開幕まで残り 5 週となった段階でもできないというのはなかなか落ち着かないものだ、ということクラブの皆様には知っていただきたい。また、この質問をするにあたって他の J3 クラブの状況も大まかに確認してみたが、J2 経験のあるクラブや J2 を目指すクラブは既にその情報が出ていた。（早いところではリリース日が 2018 年 11 月末だった）これから先このクラブが本気で J2 を目指すのであれば、こういった小さい部分の積み重ねも『クラブの力』となるのではないだろうか。

(高橋) ご指摘の通りであり、クラブとしても意識して改善に努めて参ります。

<集客>

(質問) 2018 年の「Jリーグスタジアム観戦者調査」のデータを見ると、盛岡は 1 人での来場が多く、スタジアム観戦についての勧誘行動、被勧誘行動も J3 で最も低い水準となっています。観客動員数が苦戦している要因と考えるが、どのように分析しどう対策するか教えて下さい。

(質問) 昨年のサポカンでは、大きな課題としてある「集客」に焦点を合わせ、平均観客数二千人を目指し活動して行くとの力強いお話しがありましたが、実際は大きく下回る結果となりました。目標が達成出来なかった原因をお示しいただきたいです。

(宮野) 先程お応えしました通り、PDCA を回すサイクルができておらず、このような結果になってしまったと受け止めております。先日、Jリーグからの分析データで、J1 から J3 に落ちるにつれて、おもてなし感の



満足度指数が落ちていく結果が示されていました。クラブとしても、チケットをもぎるところから、試合を終えて帰るところまで、日頃よりサポート頂くボランティアの皆さまの助けもお借りしながら、来てよかったと思われる空間を目指して、対応の改善に努めて参ります。

<キッズについて>

(質問) 昨シーズンのキッズによる PK 対決は見ていて楽しかった。これほどサッカーが上手くてよく動けるマスコットは中々ないので、ファンとしてはもっとキッズがサッカーをしている姿を見たいものである。試合時のイベント・SNS での動画投稿など形は何でもいいのもっとキッズのサッカーの上手さを発信してもいいかと思う。

(宮野) ありがとうございます、貴重なご意見として参考にさせていただきます。

(質問) キッズの履いている黒い靴だが、ダサいのでスパイクをプレゼントしたい。靴のサイズと希望の色とメーカーを教えて欲しい。

(宮野) キッズですが、平時と戦時で足底を変えており、戦時にはサッカーシューズ使用になっております。サイズは分からないですが、間に合っているようです、ありがとうございます。

(質問) キッズの足の形が人間臭いので整形して欲しい。

(宮野) こればかりは何とも申しあげられません、本人にも伝えづらいので割愛させていただきます。

(質問) キッズがまた等々力競技場に行って川崎フロンターレの試合へ行く時、体色をフロンターレカラーにしてみてもどうだろうか。もしくはユニを着させてはどうだろうか。

(宮野) リーグ優勝時にフロンターレさんのマスコットがゴールドで現れましたね。キッズは白なので青になるイメージは無いですが、フロンターレさんに何うと、多方面で勢いがあるのでどうなるでしょうか。

(質問) キッズに、もっとサッカー上手くなって欲しいと伝えて欲しい。あと、ラポーナが下手くそだからもっと練習するようにと伝えて欲しい。

(宮野) はい、伝えておきます。

(質問) キッズの中の人に、元選手の林勇介さんに是非オファーして頂きたい。

(宮野) ???中にヒトですか、おりません。

(質問) キッズの生い立ち、TV 番組露出、公式ホームページ内にキッズ専用の紹介ページが設けられていることで、非常にキャッチーで面白いと思いました。これに加え、同じページ内にキッズは他の候補の中から投票できたこと、クラウドファンディングで実現したこと、決して悪ふざけではなく望まれて誕生したこと等の生い立ちまで記載するのはどうでしょうか。また、これらのエピソードを踏まえて TV 番組の出演も可能ではないかと思えます。キッズ誕生の年に数回出演しただけでは、まだまだ



もったいない鶴だと確信しています。近年、視聴者投稿型のようなバラエティ番組が多く、そのような番組に非常に映える見た目とエピソードではないでしょうか。キヅール自身のやる気次第ですが、全国区が難しいならば、岩手ローカルで1コーナー持つくらいの勢いで頑張っていたらいいと思います。

(質問) キヅール人気から、試合前やハーフタイムにアウェイサポーターの方が写真を撮られている姿をよく目にしました。その写真の多くは SNS 上で拡散され、様々な人の目に届いています。そこで、シーズン中に首に掛けていた「インスタ始めました」や、川崎フロンターレとのコラボの際に首に掛けていた「Dole」のように、広くスポンサーを募り、時間限定で広告を首に掛けるのはどうでしょうか。写真を撮られ SNS 上で広く拡散されるため、県内企業にとどまらず全国に呼びかけができると思います。Jリーグのルール上問題ないようならば、検討していただければと思います。

(宮野) ありがとうございます。今後とも注目頂けるよう、努めて参ります。

以上で、事前質問へのご回答とさせていただきます。ここから、本日お越し頂きました皆様からのご質問・ご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願い申し上げます。

【質疑応答】

(質問) 新チーム名はなぜ平仮名？

(宮野) 岩手にとっては、平仮名の方が馴染みがあるのではないかと（黄金の國いわて。など）という点と、Jクラブで平仮名を使用するチームはないので、個性を出せるのではという点から「いわて」といたしました。（Jの略称では漢字表記のみ可能）

(質問) 田中元選手のサポーターの熱量が少なくなったというコメントについて、地域リーグから昇格するタイミングが最も盛り上がったことは事実。観客動員を確保するには、目標・目的を明確化して欲しい。既にJ3で5シーズン経過しているが、どうやってクラブとして上を目指して行くのかビジョンが欲しい。メディア等も活用して上へ上がって行く、機運を高める動きを活性化して欲しい。

(田中) 選手個々もJ3昇格当時の感情、喜びと現状のモチベーションに差があるのは事実。

現状、J2昇格ライセンスを取得できる可能性がない中で、クラブとしてのビジョンをクラブ-選手-地域-サポーターと共有し、選手のモチベーションをコントロールできるように努めます。

(質問) レベル差はどのクラブとも差がないと思うので、優勝を目指してやって欲しい。ブラウブリッツ秋田のように、「優勝」という結果が行政を動かしていく可能性がある。

(高橋) 優勝を目指すと言っていない現状に対して、スポンサーからの辛辣な意見も頂戴しております。クラブが覚悟を持って取り組むシーズンにしたいと思います。

(質問) チーム名が「いわて」に変わった中で、盛り上げていく必要がある。岩手に全県ホーム化したメリットが



現状見えない。主要都市の AEON 等を活用したパブリックビューイングツアーを実施して、多くの人に見てもらえる状況を作る必要があるのではないか。

(高橋) パブリックビューイングツアーについては(場所/日時/回数)は未定ではあるものの、検討中です。「いわてグルージャ盛岡」というクラブを知って頂く活動を全 33 市町村で行なっていく方針です。

(質問) 昨年後半缶バッジの作成機会を障がい者の方に提供してくれたことに感謝。全 33 市町村でオリジナルキッズ缶バッジを昨年同様作成し、ホームゲーム/アウェイゲームで販売し、ファンベースを拡大していく施策はどうか。

(宮野) 障がいを持たれている方へのアプローチは、社会貢献活動の一環としても続けていきたい。全 33 市町村にアピールできるようなグッズの展開を考えている。嶋コーチ(元知的障がい者日本代表コーチ)が加入したので彼を活用した活動も行なっていきたい。

(質問) サッカー初心者が楽しめるような(ルールがわかる)スタジアムでのアプローチが欲しい。ウォーキングサッカーなど、老若男女楽しめるようなイベントを行なってサッカーファンの裾野を広げるような活動を行なってはどうか。

(宮野) 食&音楽等を含めた「非日常感」を味わえるような環境を提供していきたいと思っております。芝でボールを蹴る楽しさを味わえるような企画等々シーズンを通して行なっていきたい。

(質問) シーズン中盤にも前半戦の反省点をディスカッションするサポカンを開いて欲しい。

(宮野) 日々密なコミュニケーションを取っていきたくと思っております。サポーターズカンファレンスについても時期を見て取り組めるか考慮していきたい。

(質問) 盛岡市内・駅前でホームタウン感を感じることができない。グッズ販売・認知向上・雰囲気醸成に努めて欲しい。

(宮野) 路面店でのグッズ販売先がないので、販路拡大に取り組んでいきます。盛岡駅内でのグッズ販売にもトライしていき、駅前のポスター掲示には難しい点もありますが、クラブの価値を上げていくことで、広げていきたい。

(質問) スタジアム改修・建築について、ロードマップや進捗の共有を行なって欲しい。

(宮野) 今シーズンは、署名活動等の具体的なアクションを起こし、実施前にお知らせいたします。

(質問) キッズはあくまでグルージャのマスコットなので、フロンターレ色に染まり切るのではなく、管理をしっかりして欲しい。

(宮野) フロンターレさんの勢いをお借りしながらも、グルージャとしての独自性を持って進めて参ります。

(質問) 北上開催時に花北地域のチケットについて、どれくらいの高校に配布があったのか。



(高橋) 全体の 10%程度に配布いたしました。

(質問) 観戦したい学生はいるので花北地域の全高校に配布先を広げて欲しい。前売り券だけでなく、当日近くに立ち寄った人で興味のある人にも何か特典を増やして欲しい。

(高橋) スポンサーの兼ねいもありますが、花北地域の配布先拡大を考えていきたいと思っております。イベントとリンクしたような企画チケットを考えていきます。スタジアムに来てもらえるきっかけ作りをしています。

(質問) 子供が普段身に付けられる、学校に持っていけるグッズを作って欲しい

(高橋) シールを企画しています。小ロット対応のパートナーを見つけたので、積極的に進めていきたい。クラブの身の丈にあった形で子供へのアプローチを進めていきます。

(質問) 昨年「学校の宿題をグルージャとやろう！」という案があったが、案を出したからには実行して欲しい。それをメディア等を通して発信して、認知をあげて欲しい。

(宮野) 試合会場で行えないか可能性を模索していきます。

(質問) 今シーズンのグルマル出店/配置、コンコースでのグッズ販売等について、昨シーズンから変更があれば決まっている範囲で教えて欲しい。

(高橋) グルマルについては出店者と協議中です。今シーズンも南口で進めていきます。コンコースの活用について、グッズ販売を含めて、クラブ内で協議を続けています。何かリクエストがあれば随時教えて頂ければと思います。

(質問) アウェイサポーター用のグルージャお土産コーナーを作って欲しい。

(高橋) 皆様ご存知のとおり、福田パンはアウェイサポーターのお土産としても人気があります。岩手の特産品など、土産物が充実できるよう工夫して参りたいと思います。

【閉会】

(宮野) 本日は約 2 時間に亘りご参加いただき、誠にありがとうございました。本日頂きました貴重なご意見を参考に、充実したシーズンとなるよう、クラブ一同、発展に努めて参ります。また、シーズン中も適宜コミュニケーションを取らせていただき、軌道修正もしながら良いクラブを作って参りたいと思いますので、何卒よろしく願い申し上げます。改めまして、本日は誠にありがとうございました。